

知って実践! 飲酒運転根絶!

①飲酒運転根絶を推進しよう

- 講習を通して飲酒運転の危険を周知しよう
- 家族へ飲酒運転根絶を働きかけよう

②年末の交通安全県民運動 【12月1日(月)~10日(水)】

※県内一斉大監視 12月5日(金) 午後4時~午後6時

- 安全確認の徹底を呼び掛けよう



講習を通して

飲酒運転の危険を

周知しよう

昨年県内では、一三八件の飲酒運転による人身事故が発生しており、いまだに根絶には至っていません。

これから年末年始にかけては飲酒する機会が増えることから、飲酒運転根絶の意識づけを行う必要があります。

そこで、飲酒運転根絶をテーマにした講習を行い、年末年始の飲酒運転根絶を図りましょう。

講習では、少量のアルコールでも運転に必要な「認知」「判断」「操作」に影響を及ぼし、

●速度超過

●一時不停止や信号無視

●車間距離の誤判断

●ハンドルやブレーキの操作ミス

といった事故につながる危険な行動をしてしまうことを周知

知しておきましょう。

また、視聴覚教材や冊子なども活用して、飲酒運転に対する厳しい罰則をはじめ、その後の悲惨な末路を紹介するなど、安易な飲酒運転が人生を大きく狂わすことを理解させておきましょう。

家族へ飲酒運転根絶を

働きかけよう

飲酒運転根絶を推進するには、従業員だけではなく、その家族の役割も大切になります。そこで、従業員の家族へ飲酒運転根絶の協力を呼び掛けましょう。

ある事業所では、家族に飲酒運転根絶の資料を配付するとともに、節度ある飲酒や出勤前のアルコールチェックに協力を求めています。

こうした活動のほかにも、食事の際に家族で飲酒運転について話題にすることも効果的です。

事業所だけではなく、従業員の家族を巻き込んで、職場と家庭の両輪で飲酒運転根絶を進めてください。

安全確認の徹底を

呼び掛けよう

年末は業務が多忙になることから気持ち焦り、安全確認が疎かになりがちです。

そこで交差点を通過するときの安全確認の徹底を指導しておきましょう。

とくに、見通しの悪い交差点を通過する際、「交差路から何も出てこないだろう」と、安易に通過しようとするとうる合頭事故の危険があります。たとえ優先道路を走行しているときでも安全確認をしっかり行うよう指導してください。

安全確認の徹底で年末を無事故・無違反で乗り切り、気持ちよく新年を迎えましょう。